



3/29  
(日)

～未来に継ぐていーだの夢～

国立劇場沖縄において「新・古伝統芸能浦添」が開催されました。この公演は、古典音楽、組踊、琉球舞踊で構成されおり、総勢194名が出演しました。

古典音楽では、流派の異なる演奏者82名が「天川節・仲順節」を斉唱し、組踊では、玉城朝薫の組踊五番の一つ「孝行之巻」が披露されました。琉球舞踊では、熟練の芸家による華やかな舞いの他、子ども達による「海ぬチンポーラ」が演じられ、観客を和ませました。

浦添勢が大健闘!!!

第4回春の全国中学生選手権大会優勝!



神森中女子ハンドボール部

第21回全九州中学生選抜大会優勝!



浦西中女子ハンドボール部

第21回全九州中学生選抜大会準優勝!



神森中男子ハンドボール部



本市の収入役制度が終了しました

地方自治法の改正に伴い収入役制度が廃止され、4月1日から会計管理者制度が始まりました。

浦添村時代から90年以上続いた収入役制度では、これまで28名が収入役の任に就き、村政、市政の発展に尽くしてきました。

最後の収入役となる積洋一氏の離任式が3月31日に行われ、その中で積氏は、収入役として市の会計業務に携わった喜びを伝えるとともに、協力いただいた方へ感謝の意を述べました。



4/1  
(水)

県内初!地震・津波の情報を瞬時にJ-ALERT!!

地震速報や津波情報など即時対応が必要とされる緊急情報を住民に瞬時に伝達する「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」の運用が開始されました。これまでの情報伝達は、防災担当職員の手を介する必要がありましたが、新しいシステムでは、気象庁が発表する緊急地震速報などを人工衛星から受信し、自動的に市の防災行政無線と連携する屋外スピーカー(市内に24カ所設置)でサイレンと音声による警報を放送します。このシステムの運用開始により市民の安心・安全の強化を図ります。



3/18  
(水)

念願の道路開通と信号機設置で安心して通学できます。

サンパーク通りと県道153号線を結ぶ市道宇治真線が開通し、それに伴う新設信号機の点灯式が、明治乳業前の交差点で行われました。点灯式には、地域の小中学生や学校関係者、保育園児、浦添警察署長、市長らが参加し、念願の市道開通と信号機設置を喜ぶとともに、同交差点での交通安全を祈願しました。

港川中学校生徒会長の松村薫さんは「新しい道路の開通と信号機の設置はとても嬉しいです。多くの皆様のご協力で牧港小学校や港川小中学校の生徒が安心して通学できるようになったと思います。」と感謝の言葉を述べました。



4/2  
(木)

困ったときは、ご相談ください!

市長応接室で「法律相談嘱託員・市民相談嘱託員」の委嘱状交付式が行われました。法律相談嘱託員には、弁護士佐竹道憲さん、司法書士の久場兼政さんが再任され、市民相談嘱託員には、垣花泰彦さん、上原磨利子さんが再任されました。

最近、相続・離婚に関するものや労働問題についての相談が増えており、平成20年度は法律相談644件、市民相談1,160件、計1,804件となっています。

佐竹さんは、相談員を代表して「市民の相談の解決、人権擁護、財産の保護のため真摯に頑張ります」と抱負を述べました。



3/23  
(月)

新一年生が事件・事故に巻き込まれないために

浦添市交通安全推進協議会、暴力団壊滅浦添市民対策会議及び浦添地区交通安全協会から「ランドセルカバー」、「交通安全反射材付体育着入れ」、「防犯啓発用下敷き」各1,600枚が市内の全小学校へ贈呈されました。

これら3点セットは、子ども達の交通事故防止と防犯意識の向上を図る目的で作られています。

代表して贈呈を受けた牧港小学校の大山校長は「子ども達の安全を守るため有効に使わせていただきます。」と述べ、安心・安全の学校づくりへ強い決意を示しました。